

柴又地域一連の学校改築について

令和6年12月

葛飾区
葛飾区教育委員会

本日の流れ

- 1 柴又小学校単独改築の課題
- 2 改築の方向性の検討経過
- 3 小学校統合及び一連の学校改築の流れ
- 4 統合小学校の規模等
- 5 統合における課題
- 6 質疑応答

1 柴又小学校単独改築の課題

昭和30年～40年代に建設した小・中学校の老朽化が進んでおり、区では計画的に学校改築を進めています。改築に当たっては、今後の学級数の推計や学校施設の老朽化の状況などを踏まえるとともに、地域バランスも考慮しながら、平成30年度に葛飾区を7つのエリアに分けて1校ずつ改築校を選定しました。

地域	新校舎完成済	改築選定校
水元地域	—	水元小学校
亀有・青戸地域	中青戸小学校	道上小学校
奥戸・新小岩地域	小松中学校	二上小学校
立石・四つ木地域	本田中学校	よつぎ小学校・四ツ木中学校
南綾瀬・お花茶屋・堀切地域	西小菅小学校	宝木塚小学校
金町・新宿地域	東金町学校	常盤中学校
柴又・高砂地域	高砂小学校・高砂中学校	柴又小学校

1 柴又小学校単独改築の課題

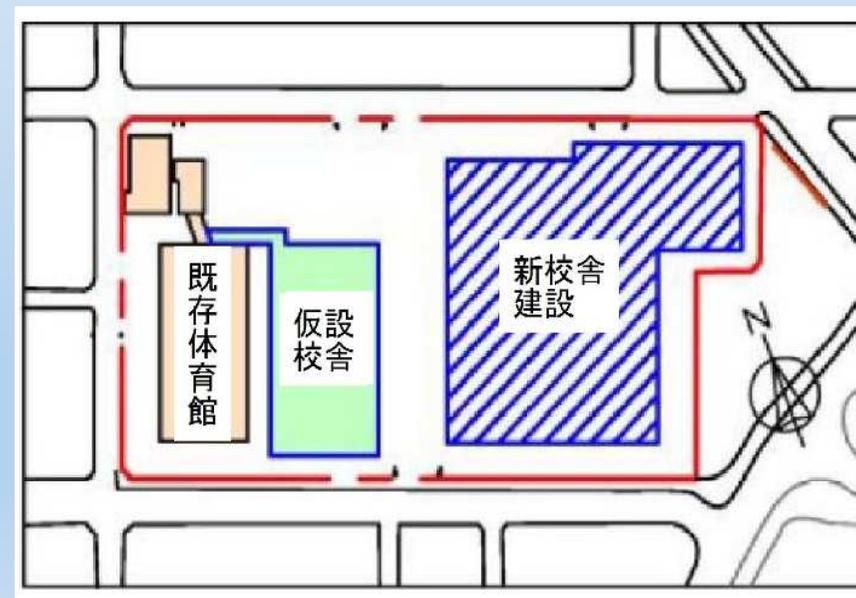
- 敷地が狭く、工事エリアと学校運営エリアが近い。
→ 騒音・振動の影響に加え、工事車両と児童の動線が近接する。
- 改築工事期間中、
外体育や外遊びの空間がない。

⇒柴又地域の学校を一体的に整備することで、

- ①工事と学校運営エリアの分離
 - ②外運動空間の確保
- を実現し、

上記の課題を解決することを考えました。

(新校舎建設工事イメージ)



2 改築の方向性の検討経過

(1) 柴又地域学校改築懇談会の設立

- 区及び教育委員会は、柴又小学校単独改築での課題解決のため、柴又小学校と東柴又小学校を統合して新校舎を建設し、その後、空いた小学校敷地を活用して桜道中学校の改築を行う、柴又地域一連の学校改築案を提案し、令和5年に計10回の説明会を開催しました。
- そして、学校運営に深く関わりのある地域の方や学校関係者を中心とした『柴又地域学校改築懇談会』（以降、「改築懇談会」といいます）を立ち上げ、説明会でいただいたご意見を踏まえ、学校改築の基本的な方向性等について検討いたしました。

2 改築の方向性の検討経過

(2) 柴又地域の学校の現状

(注) 児童数・生徒数及び学級数は、令和6年5月1日現在

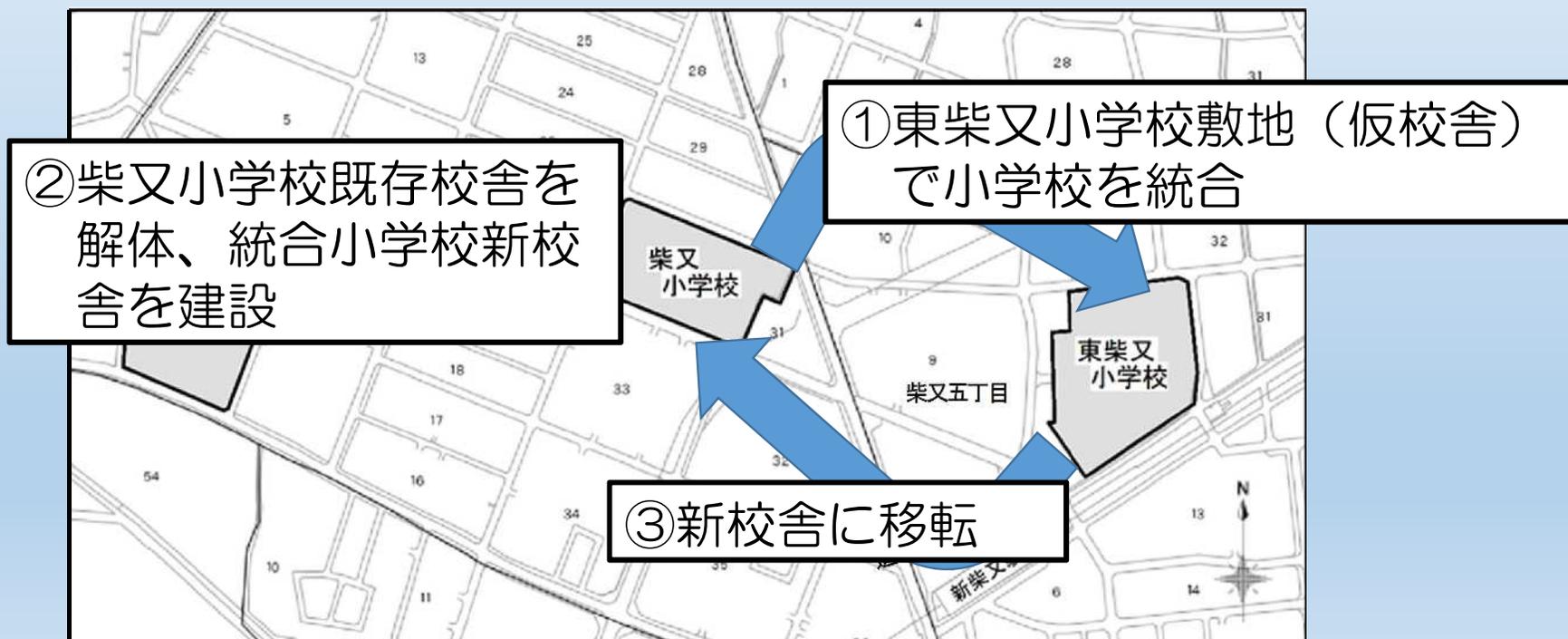
学校名	柴又小学校	東柴又小学校	桜道中学校
所在地	柴又四丁目30番1号	柴又五丁目12番15号	柴又四丁目3番1号
敷地面積	7,646m ²	10,215m ²	10,104m ²
延べ面積	5,232m ²	4,343m ²	6,407m ²
児童・生徒数	306人 特別支援学級26人	288人	406人
学級数	12学級 特別支援学級4学級	12学級	12学級
建築年	昭和40年	昭和38年	昭和35年

いずれの学校も建築から50年を超え、改築等を検討する時期にきています。

2 改築の方向性の検討経過

(3) 柴又地域一連の学校改築案①

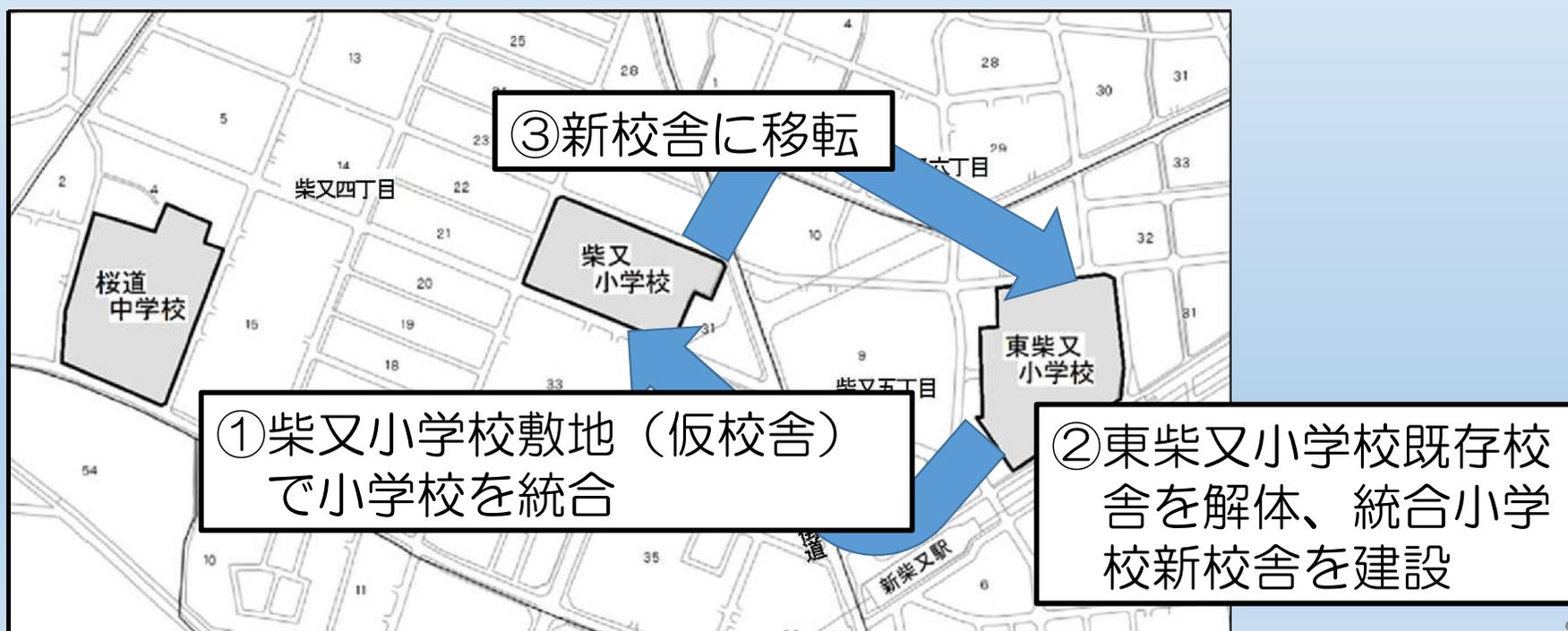
- 柴又小学校敷地に統合小学校を建設する場合



2 改築の方向性の検討経過

(3) 柴又地域一連の学校改築案②

- 東柴又小学校敷地に統合小学校を建設する場合



2 改築の方向性の検討経過

(4) 改築懇談会での検討

改築懇談会では、令和5年11月から令和6年8月までの間に計9回開催し、

- ① 工事中の教育環境への影響低減
- ② 未来を見据えた教育環境の整備
- ③ 地域の拠点となる学校づくり



について、柴又小学校単独改築の場合と柴又地域一連の学校改築の場合で、比較検討した内容を区から提示し、意見を交わしていただきました。

2 改築の方向性の検討経過

(4) 改築懇談会での検討【①教育環境への影響】

	柴又小単独改築	柴又地域一連の改築
工事期間中の環境	<ul style="list-style-type: none">・騒音・振動の影響は大・外運動環境なし	<ul style="list-style-type: none">・騒音・振動の影響は小・外運動環境を確保できる・桜道中学校も含めて工期短縮できる
通学区域・通学路	—	<ul style="list-style-type: none">・一部児童は通学距離が長くなる・柴又街道を渡る児童増加 ⇒交通誘導員配置等の検討が必要
児童の生活環境	—	<ul style="list-style-type: none">・環境の変化による児童の生活の変化 ⇒児童の交流準備や児童に配慮した教員配置等の検討が必要

2 改築の方向性の検討経過

(4) 改築懇談会での検討【②教育環境の整備】

	柴又小単独改築	柴又地域一連の改築
児童数 学級数	<ul style="list-style-type: none">柴又小学校は12学級を維持する 一方、東柴又小学校は将来的に単 学級の学年が発生する可能性がある	<ul style="list-style-type: none">小学校統合により、当面の間は18学級 を維持できる可能性が高い
仮校舎	<ul style="list-style-type: none">柴又小学校の敷地内に1校分の仮 校舎を整備する	<ul style="list-style-type: none">柴又小学校または東柴又小学校に不足 分の諸室のみ整備する桜道中学校は空いた小学校仮校舎を利用する

2 改築の方向性の検討経過

(4) 改築懇談会での検討【③拠点となる学校づくり】

	柴又小単独改築	柴又地域一連の改築
新校舎 施設規模	校舎：12学級、7,000㎡（延べ床） 校庭：2,500㎡※	校舎：18学級、8,000㎡（延べ床） 校庭：【柴又小に建設】 2,300㎡※ 【東柴又小に建設】 5,600㎡※
防災機能	柴又小学校のみ改築 →避難所は3か所だが、東柴又小学校・桜道中学校の体育館は1階のままになる。	避難所は2か所になる。 ただし、統合小学校と桜道中学校の体育館を2階以上に整備し、設備も更新する。
文化・歴史 の継承	各学校の文化・歴史をそれぞれ引き継ぎ継承する。	柴又小学校・東柴又小学校統合に伴い、継承するもの・方法を検討する。

※ 柴又小は3階建て、東柴又小は4階建てで新校舎を建設した場合の校庭面積（概算）

以上の提示をもとに、改築懇談会では意見が交わされました。

2 改築の方向性の検討経過

(5) 方向性の決定

改築懇談会は、東柴又小学校敷地に新校舎を建設する案を区と教育員会に提言しました。

区と教育委員会は提言を踏まえ、柴又地域における学校改築について、

「東柴又小学校敷地に統合小学校を建設後、
一連の改築として桜道中学校を改築」

を方向性として決定し、令和6年9月に議会へ報告しました。

3 小学校統合及び一連の学校改築の流れ

※ スケジュールは現時点の想定です

(1) 小学校

＜東柴又小学校に統合小学校を建設＞



3 小学校統合及び一連の学校改築の流れ

※ スケジュールは現時点の想定です

(2) 桜道中学校

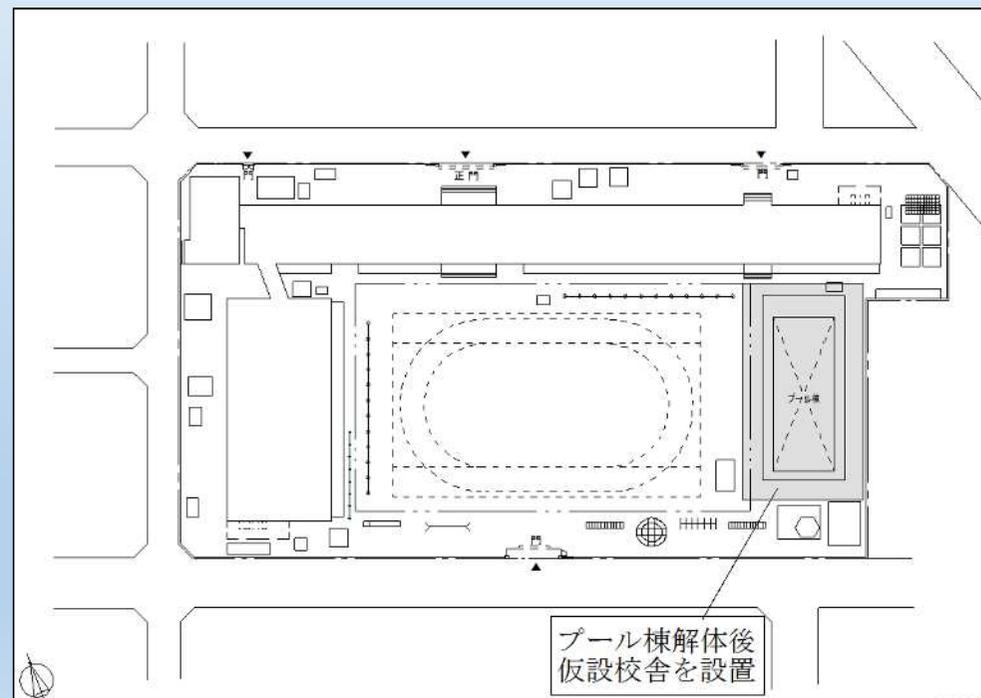
＜統合小学校仮校舎を活用して桜道中学校を改築＞



4 統合小学校の規模等

(1) 統合小学校仮校舎の規模想定

現在の柴又小学校校舎では教室数が不足します。不足分は、現在プール棟がある場所に校舎を増設します。

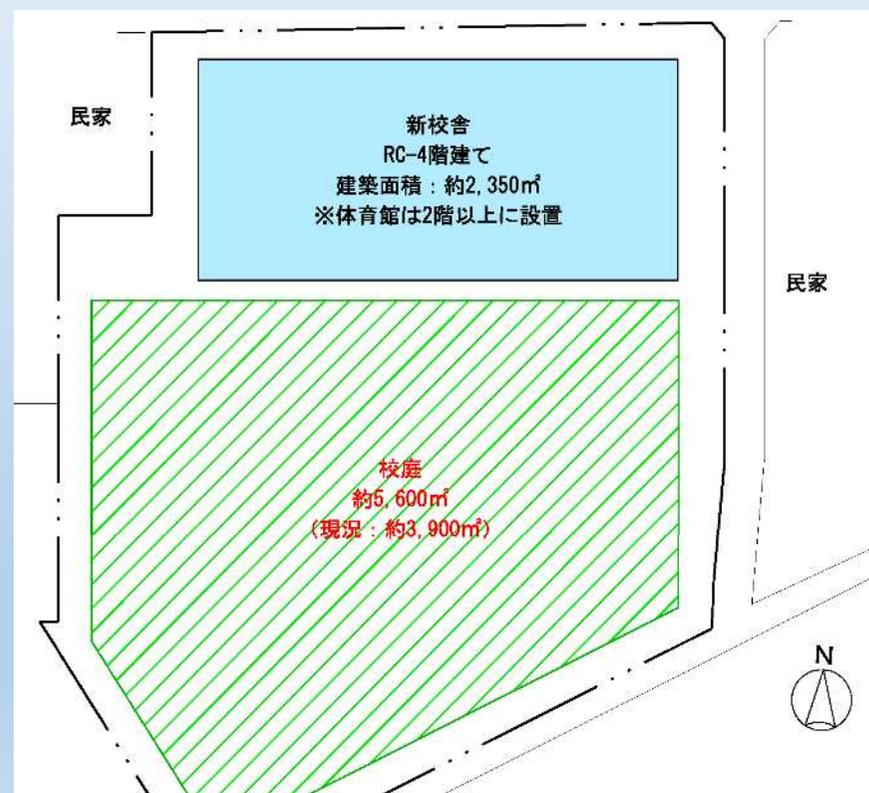


4 統合小学校の規模等

(2) 統合小学校新校舎の規模想定

統合小学校新校舎の配置や形状は未定です。今後、改築懇談会等のご意見を伺いながら検討してまいります。

<新校舎イメージ>



4 統合小学校の規模等

(3) 新校舎の設備

- ①学びのスタイルの変化に対応した建物
 - ・教室面積の拡大（63㎡→74㎡）
 - ・ICTへの対応
 - ・学習センター（学校図書館）の充実 等
- ②バリアフリー、ユニバーサルデザインへの配慮
 - ・段差解消
 - ・バリアフリースイッチ
 - ・エレベーター設置 等
- ③環境・衛生面の配慮
 - ・太陽光発電等の省エネルギー化
 - ・センサー式水栓の導入 等
- ④防災機能の強化
 - ・自家発電装置の設置
 - ・貯水機能付給水管
 - ・水害を想定した体育館及び備蓄倉庫の2階設置 等
- ⑤地域とのつながりを重視した学校
 - ・周辺環境に調和した校舎
 - ・学校の歴史の継承
 - ・施設開放が利用しやすいレイアウト

改築のイメージ



5 統合における課題

- 文化や歴史の継承、モニュメント等の保存
- 児童の通学における安全の確保
- 児童の交流・調和

⇒ これらの課題については、引き続き改築懇談会での検討や学校等との協議を行ってまいります。

お問い合わせ

電話

- 施設部 施設管理課 学校施設計画担当係
電話：03-5654-8138
担当：伊良波（いらは）
- 教育委員会事務局 教育総務課 学校施設係
電話：03-5654-8453
担当：菌部（そのべ）

質問フォーム

右側のQRコードを読み取り、お問い合わせください。

